

平成28年度

熊本県学^く力^ま調^さ査
「ゆうチャレンジ」

小学校 第5学年 国語

- 問題は 1 ～ 4 で，8 ページまであります。
- 答えは，問題用紙の「解答らん」に書いてください。

年 組 番	
名 前	

熊本県教育委員会

1 坂田さんの学級では、「学校ボランティアの方との交流会をどうするか」について、次の【これまで話し合ったことの記録】をもとに話し合っています。今日は、下の【今回の話し合いの様子】のように話し合いました。よく読んで、あとの問題に答えましょう。

【これまで話し合ったことの記録】

【今回の話し合いの様子】

(司会は山村さん、記録は花田さん)

学校ボランティアの方について

- ・お年寄りの方もいらっしやる。
- ・交流会を楽しみにされている。

交流会の目的

- ・感謝の気持ちを伝える。
- ・これまでよりもっと仲良くなる。

交流会の流れ

- ①はじめの言葉 (二分)
- ②交流会の目的について (三分)
- ③レクリエーション (二十分)
- ④お礼の言葉 (五分)
- ⑤全員合唱「ふるさと」 (五分)
- ⑥おわりの言葉 (二分)
- ⑦お見送り (三分)

レクリエーション

- ・「しりとりゲーム」か「もの当てゲーム」のどちらかにする。

議題：レクリエーションは、「しりとりゲーム」と「もの当てゲーム」のどちらがよいか。

※「しりとりゲーム」とは、二人一組でしりとりをすること。「もの当てゲーム」とは、二人一組で、示された「もの」を見ずに、ヒントをもとに当てること。

山村 どちらのゲームがよいかについて、意見をおねがいします。
坂田 はい。ぼくはしりとりゲームがいいと思います。チーム対決の形式にして、夢中になって答えを考える中で、ボランティアの方と自然と協力できると思うからです。

大原 はい。ぼくは、ボランティアの方に楽しんでもらえるか心配です。ただ、ぼくも、夢中になって考えてもらえると嬉しいです。
山村 ほか意見はありませんか。
岩下 はい。わたしはもの当てゲームがいいと思います。ボランティアの方と二人一組になって相談すると協力できるし、たくさんヒントを用意しておくともうあがると思うからです。

山村 では、質問はありませんか。坂田さん、どうぞ。
坂田 はい。岩下さんに質問です。
岩下 岩下さん、どうぞ。

【E】

はい。ボランティアの方が知っておられるもの、例えば、ボランティアのときに使った道具などを当ててもらおうといいと思います。さらに、ボランティアのときの出来事などをヒントに入れると、坂田さんが言うような、「心に残る会」になると思います。
(話し合いは続く)

(1) 【今回の話し合いの様子】の中で、司会の山村さんは、話し合いを進めながら、次のようなことを考えました。左の【司会者が考えたこと】にあるAとBに入る言葉を考えて書きましょう。

【司会者が考えたこと】

大原さんは、 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px auto; text-align: center;">A</div> どちらのゲームも	ゲームに反対なのかな。 できることは共通しているな。
--	-------------------------------



(2) 記録の花田さんは、二つのゲームに対する意見を、次の【整理した表】にまとめようとしています。【今回の話し合いの様子】から、表のCとDに当てはまる内容の文を書きましょう。

【整理した表】

心配	よさ	
D ○	○ ○ ○ 自然と協力できる。	しりとりゲーム
C ○	○ ○	もの当てゲーム

(3) 【今回の話し合いの様子】の【E】では、坂田さんほどのような質問をしたと考えられますか。あとの【条件】に合わせて書きましょう。

- 【条件】
- 岩下さんの答えに合うような質問にすること。
 - 書き出しのあとに続けて、話すように書くこと。
 - 三十五字以上、四十字以内で書くこと。

岩下さんに質問です。

岩下さんに質問です。	(Writing area with dashed lines)
35	40

③
④

2

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文の —— 部の漢字の読みを、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

銀行に預金する。

① 銀行に預金する。

かぜによく効く薬をのむ。

② かぜによく効く薬をのむ。

宿題に再び取りかかる。

③ 宿題に再び取りかかる。

く

び

(2) 次の文の —— 部のひらがなを、漢字で書いていねいに書きましょう。

ふるさとのれきしを知る。

① ふるさとのれきしを知る。

テストにそなえる。

② テストにそなえる。

じゅぎょうが楽しい。

③ じゅぎょうが楽しい。

える

⑥

(3) 次の①と②のローマ字をひらがなで書いていねいに書きましょう。また、③の言葉をローマ字でいていねいに書きましょう。

① nikki

② pan'ya

③ しゃかい

⑦

(4) あとの【 】の文を、例の書き方のように、つなぎ言葉を使い、二つの文に分けて書き直しましょう。

例

【ぼくは、水泳の練習があまりできなくて心配だったが、大会では最後まで泳ぐことができた。】

ぼくは、水泳の練習があまりできなくて

心配だった。しかし、

大会では最後まで泳ぐことができた。

【朝の天気予報では午後から雨になりそうだったので、かさをもって家を出た。】

朝の天気予報では午後から

かさをもって家を出た。

⑧

(5) 竹田さんは書写の時間のはじめに①を書きました。その後、手本をしっかり見て、②のように書き直しました。①を②に書き直すとき、どのような点に注意していますか。最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

①

夢の実現を目指して

②

夢の実現を目指して

- ア 漢字とひらがなの文字を同じ大きさにする。
- イ 漢字を大きく、ひらがなを小さく書く。
- ウ 漢字を小さく、ひらがなを大きく書く。
- エ 行の中心にそって、どの字も大きく書く。

⑨

(6) 竹田さんは校長先生と次のような会話をするとき、――線の言葉をどのように言えばよいでしょうか。ふさわしい言葉づかいに直して、下の□に書きましよう。

(校長先生) 「先日の児童集会の司会は上手にできましたね。だれかに教えてもらいましたか。」

(竹田さん) 「たん任にんの先生から教えてもらいました。」



「たん任の先生から

⑩

③ 次の文章は「ゆず」という物語の【これまでのあらすじ】と【物語の一部】です。よく読んで、あとの問題に答えましょう。

【これまでのあらすじ】

ふる雪がそこだけくつきりとうきだして見える街灯の下に、一人のおばあさんが不安そうに立っていました。少女が近づく
と、おばあさんはすぐわれたように声をかけてきたのでした。

【物語の一部】

(杉みき子^{すぎ}著^{ちよ}「ゆず」による。)

(1) 一部「心もとなく」のときの少女の気持ちとして**当てはまらないもの**を、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア つまづかないかな。 イ 道に迷わ^{まよ}ないかな。 ウ 待ち遠しいな。 エ 一人では心配だな。

⑪

(2) 右の文章の場面の様子について、上田さんと白石さんが話し合いをしています。

上田 少女が「みょうなこと」と思っているのはどんなことなのかな。
白石 そうだなあ。「みょうなこと」ってことは、自分が予想していたこととちがったということだよ。ということは、おばあさんの言葉

をどのように受け止めたのだろう。

上田 「おれいともいわんねえようなおれいだも……」とおばあさんから言われているから、少女は **A** と思ったのかな。

白石 なるほど、このときはそのおれいに気付いていないんだよね。あとから、「かんしゃのことばを思いました」とあるよね。少女が思

いだすきつかけになったのは、 **B** だね。おもしろいね。*

上田 そうだね。おもしろいといえ、この物語には場面の様子や心

情が想像できる表現がたくさんあるのいいね。特に最後の「宝石

でもささげるように、手ぶくろの手を星空に高くかざした」から、少女の心情が分かってすてきたと思うよ。

(※心情とは、心の中にある思いや感情のこと。)

① 上田さんは **A** のところで少女が「みょうなこと」と思っていることをどのように話したでしょうか。最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 「おれいは言わないのかな」
イ 「おれいって何のことかな」
ウ 「おれいをもらうってうれしいな」
エ 「おれいをもらいたいな」

⑫

② **B** には、本文中の言葉が入ります。あてはまる言葉を、本文中から六文字で探して書きましょう。

⑬

③ 話し合いの最後に、上田さんは少女の心情について話しています。上田さんが選んだ「宝石でもささげるように、高くかざした」という表現から分かる少女の心情を考え、左に書きましょう。また、なぜそう考えたのか理由も書きましょう。

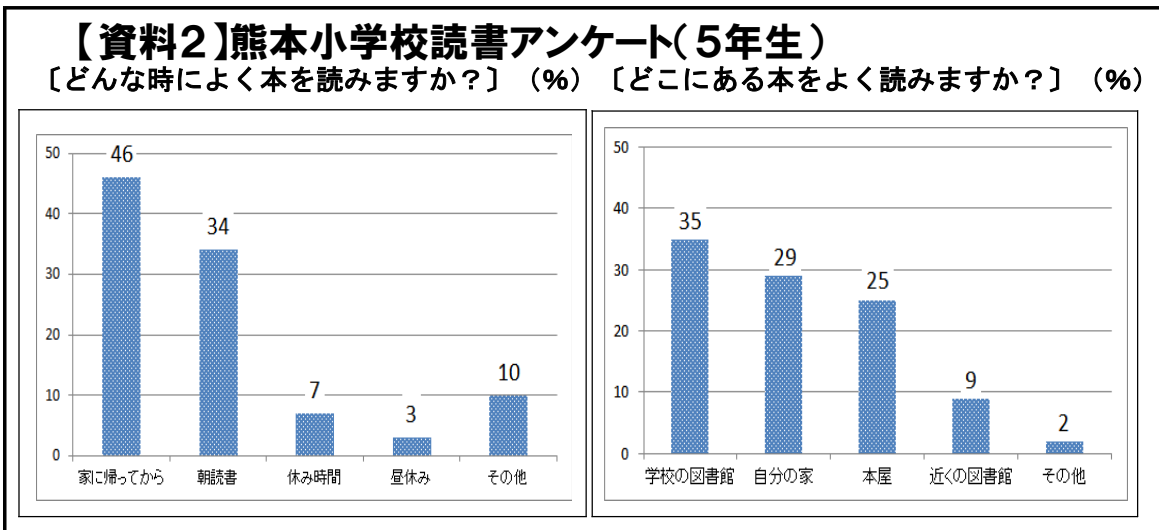
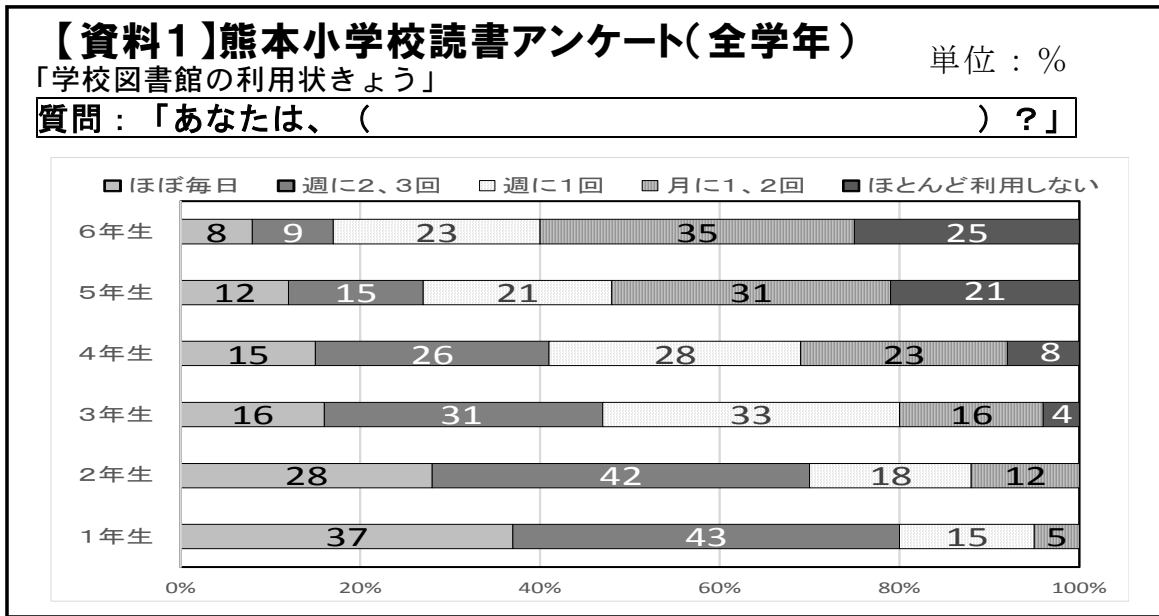
少女の心情

理由

--	--

⑮ ⑭

4 山本さんの班は、学級みんなに読書について考えてもらうために、熊本小学校の読書の様子を調べ、報告書にまとめることになりました。山本さんは、次の【資料1】【資料2】を活用し、報告書を書いていきます。よく読んで、あとの問題に答えましょう。




【報告書の構成】

- ① 何を報告するかを書く。
- ② 調査のきっかけと方法を書く。
- ③ 【資料1】から分かることを書く。
- ④ 【資料2】から分かることを書く。
- ⑤ 今後の読書生活について書く。
- ⑥ 報告の終わりの言葉を書く。

【報告書の下書きの一部】

- ① わたしたちは、熊本小学校の読書の様子について調べました。
- ② きっかけは、図書先生から、「最近、図書館を利用する人が減った。」と聞いたからです。調べたことは、「学校図書館の利用状況」や、「熊本小学校のみんなが、いつ、どこで、どのような読書をしているか」についてです。
- ③ まず、資料1では、...
- ④ 次に、資料2では、...
- ⑤ 特に、五・六年生では、...
- ⑥ 最後に、まとめです。...

(・・・の部分は、省略しています。)



これで、問題は終わりです。